

はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 21世紀記念公園麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL924-2194 FAX924-2195

緑が初春の陽を浴びて輝いています



「マツの雪吊り」(松陵の滝)

【お知らせ】

次回の「記念樹交付とみどり講習会」は、
平成26年3月9日(日)です。

🎅「いけばな初歩講座」(池坊)を開催します。

(各回)定員15名(参加費)1,500円

1月18日(土)10:30~12:30

1月25日(土)10:30~12:30

🎅「新春茶会」1月26日(日)開催します。

詳細については事務所にお問い合わせ下さい。

ガーデニング ワンポイント

冬でも作業はありますよ！

明けましておめでとうございます。平成26年も今まで以上に緑の情報を発信していきたいと考えています。皆さん、今年もよろしくお願ひいたします。そして、気になる事がありましたら事務所までお問い合わせください。皆さんが緑に関心を持っていただくことが、より良い環境に結びつくものと確信します。

【水やり】 これからは温度も下がり乾燥もしにくくはなりますが、雨や雪が少ない時や植え替えた場合は必要ですから乾いてきたらたっぷりと樹幹全体にあげます。あげた水が凍らないような時間帯にします。夕方までには乾いているようにします。水をあげるタイミングの乾き具合は土の表面を見て判断します。腐葉土でマルチング(土の表面に敷き並べる事)をすると乾燥や寒さを防ぐことができます。水やりは、水分を根に届けると同時に新鮮な酸素を供給するのが大きな目的です。根腐れとは根に酸素が不足し窒息の状態のことです。

【肥料】 多くの樹木はまだこの時期は肥料を必要としません。2月頃から寒肥として施します。骨粉を混ぜ込んだ油粕などの緩効性有機質肥料が適しています。園芸コーナーで売られている醗酵済み油粕の場合はすぐに効きはじめるので時期は3月頃と少し遅らせます。寒肥をやることによって春先の芽の吹きが違います。

【病害虫防除】 針葉樹につくケムシで夏に発生したマツカレハは樹皮や混み合っている枝の所で越冬します。見つけしだい補殺します。春から秋までの間に数回にわたりスミチオン乳剤で消毒をしておくと退治できます。マツノマダラカミキリにも効果がありますので大事な松をお持ちの方にはお薦

12月の教室作品



「お正月生花アレンジ」
「ミニ門松づくり」

21世紀記念公園 麓山の杜「みどり通信 No.91」 発行日：平成25年12月28日
めです。各種の**カイガラムシ**や**アブラムシ**も樹木に発生しています。冬季に使用できる薬剤（マシン油乳剤や石灰硫黄合剤）があり効果もあります。ただし薬剤散布をするときには使用方法を守ります。薬害も出やすい薬品です。

【**剪定**】 この時期の常緑樹は弱めの剪定をします。その後の芽の吹きが悪くなるためです。落葉樹の強めの剪定はこの落葉時期に可能です。春に芽が動き出す前までが適期です。しかしカエデ類は切り口から樹液が出てきますので向きません。樹液が出ることによって枝枯れしたり樹勢が弱まりカミキリムシなどの被害に遭いやすくなります。マツ類はこの時期にもみあげ（古葉などを抜き取る）や混み合っている枝を間引きます。そうすると雪による枝折れを防ぎ、またマツを弱らせることなく綺麗な姿にすることができます。**マツの枝を剪定した時に切り口からヤニがすぐ出てくる時は、そのマツが健康と思われ**ます。ヤニ（樹脂）はマツにとっては健康の**バロメーター**です。剪定は自分（観賞する側）の都合だけをするのではなくそれぞれの樹木に合ったやり方で行います。

【**植え替え**】 常緑広葉樹はこの地域では春先が最適期となります。落葉樹は厳寒期を除けば適期となります。条件が悪くても枯れにくいようです。マツ類などの針葉樹は春先まで可能です。何事も適期を逃さないで作業する事が大事です。ただし**サルスベリ**や**ザクロ**などの暖地性の樹木（春の芽の吹く時期が遅い種類）はこの時期はいくら落葉樹と言っても良くありません。暖かくなる春まで待ちます。カエデ類は遅すぎます。理由は剪定と同じ事が起こるからです。

【**防寒**】 植物には寒さに対する抵抗性の強弱があります。露地に植えられたパンジーやビオラは葉を縮こませ越冬しますがハボタンなどは強い霜でやられてしまいます。ガーデンシクラメンもこの地域では戸外での越冬は難しいです。シマトネリコやオリーブも枯れはしませんが相当に痛みます。その対処の方法としてはその植物の耐寒最低温度になる前に取り込むことです。露地植えの場合は、**ベタ掛けシートで包み込み根元を腐葉土などでマルチング**をすることです。

【今月の緑への想い】

蠟梅（ロウバイ）の蕾がふっくらとふくらんできました。もう少しであの蠟細工のような輝きの色と香りを楽しむことができます。サンシュユも黄金色の花を咲かせます。春先に咲く花は黄色が多いです。昆虫にアピールするためでしょうか。梅の品種で寒紅梅は早々とその赤い花を咲かせます。椿も色々な品種が咲いています。また、寒牡丹が関東地方の寺社で咲いている映像が流れたりしますので、部屋で寒さに縮こまっているだけではなくちょっと散歩にでて自然の動きを感じてみませんか。

《街で見かけた植物》

松（アカマツ、クロマツ、ゴヨウマツなど）

マツ科マツ属の常緑高木

新年を迎える時に私達日本人にとって古来より神がやどる木として尊ばれたのがマツです。今も門松として玄関前に飾られているのをみかけます。能舞台に描かれている松をはじめ、日本人にとっては弥生時代から始まった米の栽培にとっても関係が深い樹木です。風雨にさらされながらも年中変わることなく緑を保ち歳月と共に姿を自分で作っていきます。

